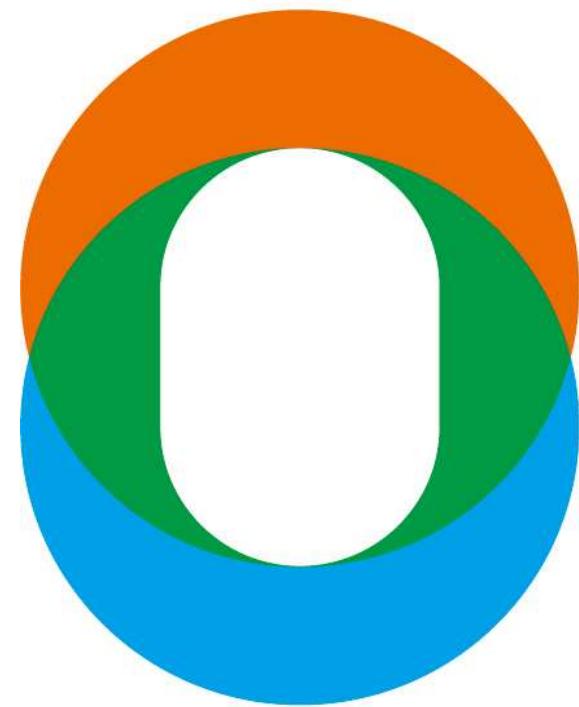


令和7年度第1回 世界に誇れる 環境先進都市 かめおか協議会

令和7年5月12日（月）

ともに生きる



プラごみゼロ

令和6年度の取組について（報告）

- お絵かきムービーの作成について
- 亀岡市環境プロモーションセンター運営開始について
- 第3回 かめおか環境賞について
- 企業・団体等とのパートナーシップ連携等について

お絵かきムービーの作成について

プラスチックごみゼロを目指す亀岡市の取組みを広く発信するため、お絵かきムービーを作成しました。
お絵かきムービーはYouTubeに投稿しており、どなたでも閲覧いただけます。



【ロングver】



【ショートver】

亀岡市環境プロモーションセンター運営開始について

■施設概要

『世界に誇れる環境先進都市』を実現するため、「海洋汚染問題に立ち上がる意識のつながりを呼びかける」ことや、「世界最先端の『環境先進都市・亀岡市』のブランド力向上」を目指し、各種施策を広く発信するとともに、「環境」の下に多くの人々が集い、交流し、つながることで「環境先進都市・亀岡市」が世界に広がることを目的にイベントやワークショップなどを開催します。



▲リバーフレンドリーレストラン登録店は施設前に出店可能

サーキュラーかめおかラボ
【名称】Circular Kameoka Lab

【住所】
亀岡市保津町下中島39-1

【開館時間】
午前9時～午後5時

【休館日】
毎週月曜日
(国民の祝日の場合はその翌日)
年末年始

【貸館】可能（有料）

第3回 かめおか環境賞について

令和6年11月3日、亀岡市自治振興式典と併せて、亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例に基づき、第3回かめおか環境賞を表彰しました。



受賞者　日本紙業有限会社
BRITA Japan株式会社
株式会社カインズ

企業・団体等とのパートナーシップ連携等について



かめおか未来づくり 環境パートナーシップ協定



亀岡市と亀岡市議会は、2018年12月13日に「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信しました。この宣言により、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロを目指すとともに、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む「世界に誇れる環境先進都市」の実現を目指します。

このまちの未来づくりに向けては、持続可能な開発目標（SDGs）の「環境・経済・社会の三側面の統合的取組の推進」というビジョンのもとに、多くの事業者とパートナーとして提携を進め、地域資源を活用した新たな価値の創出による持続可能なまちづくりに取り組む必要があります。

株式会社ごみの学校は、この主旨に賛同し、亀岡市の未来づくりに向けたパートナーとして、事業活動を通じて、経済的・社会的価値を創造しながら、環境に配慮した取組を進めます。

【株式会社ごみの学校のSDGsに向けた取組】

- 市民・行政・企業との連携による、使い捨てのライフスタイル脱却への取組強化
- プラスチック製品及び容器のリユース・資源循環をはじめとする環境ビジネスの創出及び促進
- サーキュラーエコノミーを軸とした企業間の連携強化と譲歩発信
- 市内のプラスチックごみ削減の取組に対する技術的協力
- 教育機関と協働した、環境教育への協力



【亀岡市のSDGsに向けた取組】

- 市民・企業との連携による、使い捨てのライフスタイルからの脱却への意識啓発
- 市民への使い捨てプラスチック製品及び容器のリユース・資源循環に向けた取組の普及啓発
- プラスチック等資源の回収・保管・資源循環に係る事業者間連携の構築
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取組の横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現

令和6年7月24日

株式会社ごみの学校
代表

寺井 正幸

亀岡市長

佐川 孝裕



株式会社ごみの学校

・令和6年7月24日 協定締結

【株式会社ごみの学校のSDGsに向けた取組】

- 市民・行政・企業との連携による、使い捨てのライフスタイル脱却への取組強化
- プラスチック製品及び容器のリユース・資源循環をはじめとする環境ビジネスの創出及び促進
- サーキュラーエコノミーを軸とした企業間の連携強化と譲歩発信
- 市内のプラスチックごみ削減の取組に対する技術的協力
- 教育機関と協働した、環境教育への協力

【亀岡市のSDGsに向けた取組】

- 市民・企業との連携による、使い捨てのライフスタイルからの脱却への意識啓発
- 市民への使い捨てプラスチック製品及び容器のリユース・資源循環に向けた取組の普及啓発
- プラスチック等資源の回収・保管・資源循環に係る事業者間連携の構築
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取組の横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現

企業・団体等とのパートナーシップ連携等について

かめおか未来づくり パートナーシップ協定



亀岡市は、自然環境の保全と地域経済の活性化を両立するサーキュラーエコノミーが実装された「世界に誇れる環境先進都市」の実現を目指しています。

その実現には、地域資源や民間の活力を最大限活用しつつ、環境・経済・社会の三側面から統合的に未来を見据えたまちづくり（未来づくり）に取り組む必要があります。

アミタホールディングス株式会社は、この主旨に賛同し、亀岡市の未来づくりに向けたパートナーとして、事業活動を通じて、経済的・社会的価値を創造しながら、持続可能な未来をデザインする取組を進めます。

【アミタホールディングス株式会社が進める未来づくりに向けた取組や行動】 **AMITA**

- 循環と共生による持続可能なまちづくりに向けた将来ビジョン策定の技術的支援
- 資源循環・関係性プラットフォーム構築に向けた実行計画策定の技術的支援
- サーキュラーエコノミーに向けた企業・団体・コミュニティ等との連携に向けた技術的支援

【亀岡市の未来づくりに向けた取組】

- 事業者等との連携による亀岡市内の各種事業における環境に配慮した施策の推進
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、教育機関、団体及び自治体等と連携した取り組みの横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現

令和 6年 9月 9日

アミタホールディングス株式会社

代表取締役会長兼CEO

熊野 英介

亀岡市長

桂川 孝裕

アミタホールディングス株式会社

・令和6年9月9日 協定締結

【アミタホールディングス株式会社が進める未来づくりに向けた取組や行動】

- 循環と共生による持続可能なまちづくりに向けた将来ビジョン策定の技術的支援
- 資源循環・関係性プラットフォーム構築に向けた実行計画策定の技術的支援
- サーキュラーエコノミーに向けた企業・団体・コミュニティ等との連携に向けた技術的支援

【亀岡市の未来づくりに向けた取組】

- 事業者等との連携による亀岡市内の各種事業における環境に配慮した施策の推進
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取り組みの横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現

企業・団体等とのパートナーシップ連携等について



かめおか未来づくり 環境パートナーシップ協定



亀岡市と亀岡市議会は、2018年12月13日に「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信しました。この宣言により、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロを目指すとともに、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む「世界に誇れる環境先進都市」の実現を目指します。

このまちの未来づくりに向けては、持続可能な開発目標（SDGs）の「環境・経済・社会の三側面の統合的取組の推進」というビジョンのもとに、多くの事業者とパートナーとして提携を進め、地域資源を活用した新たな価値の創出による持続可能なまちづくりに取り組む必要があります。ENEOS株式会社、植田油脂株式会社は、この主旨に賛同し、亀岡市の未来づくりに向けてパートナーとして、事業活動を通じて、経済的・社会的価値を創造しながら、環境に配慮した取組を進めます。

【ENEOS株式会社のSDGsに向けた取組】

- 市民・行政・企業との連携による、使い捨てのライフスタイル脱却への取組強化
- 廃食油の資源循環をはじめとする環境ビジネスの創出及び促進
- 資源循環事業を通じた企業間の連携強化
- 市内のプラスチックごみ削減の取組に対する技術的協力
- 脱炭素・資源循環の取組に資する廃食油の利活用についての普及啓発

【植田油脂株式会社のSDGsに向けた取組】

- 市民・行政・企業との連携による、使い捨てのライフスタイル脱却への取組強化
- 資源循環事業を通じた企業間の連携強化
- 廃食油の収集などを通じた脱炭素の取組に資する効率的な取組の促進
- 脱炭素・資源循環の取組に資する廃食油の利活用についての普及啓発

【亀岡市のSDGsに向けた取組】

- 市民・企業との連携による、使い捨てのライフスタイルからの脱却への意識啓発
- 市民・企業との連携による廃食油を燃料等へ利活用する仕組みの構築
- 市民への廃食油の資源循環に向けた取組の普及啓発
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取組の横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現

令和6年10月17日

ENEOS株式会社
バイオ燃料部 部長

古谷 大介

植田油脂株式会社
代表取締役社長

高橋 史年

亀岡市長

桂川 孝裕



ENEOS株式会社 植田油脂株式会社

・令和6年10月17日 協定締結

【ENEOS株式会社のSDGsに向けた取組】

- 市民・行政・企業との連携による、使い捨てのライフスタイル脱却への取組強化
- 廃食油の資源循環をはじめとする環境ビジネスの創出及び促進
- 資源循環事業を通じた企業間の連携強化
- 市内のプラスチックごみ削減の取組に対する技術的協力
- 脱炭素・資源循環の取組に資する廃食油の利活用についての普及啓発

【植田油脂株式会社のSDGsに向けた取組】

- 市民・行政・企業との連携による、使い捨てのライフスタイル脱却への取組強化
- 資源循環事業を通じた企業間の連携強化
- 廃食油の収集などを通じた脱炭素の取組に資する効率的な取組の促進
- 脱炭素・資源循環の取組に資する廃食油の利活用についての普及啓発

【亀岡市のSDGsに向けた取組】

- 市民・企業との連携による、使い捨てのライフスタイルからの脱却への意識啓発
- 市民・企業との連携による廃食油を燃料等へ利活用する仕組みの構築
- 市民への廃食油の資源循環に向けた取組の普及啓発
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取組の横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現

企業・団体等とのパートナーシップ連携等について

株式会社マーケットエンタープライズ

- ・亀岡市と株式会社マーケットエンタープライズとの連携と協力に関する協定書
- ・令和6年1月27日 協定締結
- ・亀岡市（甲）、株式会社マーケットエンタープライズ（乙）

【目的】

本協定は、甲及び乙の緊密な連携協力により、それぞれの資源や機能等を活用し、亀岡市内のリユース活動を促進することで、住民サービスの向上、廃棄処理量の削減、循環型社会の形成及びSDGs（持続可能な開発目標）の達成に資することを目的とする。

【連携協力事項】

甲及び乙は、前条に定める目的のため、以下各号の取り組みについて連携協力するものとする。

- (1) リユース活動の促進を通じた循環型社会の形成に関すること。
- (2) 循環型社会の形成をはじめとする環境保全に向けた啓発に関すること。
- (3) 循環型社会の形成をはじめとする環境保全に向けた協働推進に関すること。
- (4) その他、甲及び乙で合意した本協定の目的に資する事業に関すること。



おいくら申し込みページ

企業・団体等とのパートナーシップ連携等について

 かめおか未来づくり
環境パートナーシップ協定 

亀岡市と亀岡市議会は、2018年12月13日に「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信しました。この宣言により、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロを目指すとともに、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む「世界に誇れる環境先進都市」の実現を目指します。

このまちの未来づくりに向けては、持続可能な開発目標（SDGs）の「環境・経済・社会の三側面の統合的取組の推進」というビジョンのもとに、多くの事業者とパートナーとして提携を進め、地域資源を活用した新たな価値の創出による持続可能なまちづくりに取り組む必要があります。

トヨタ紡織株式会社は、この主旨に賛同し、亀岡市の未来づくりに向けたパートナーとして、事業活動を通じて、経済的・社会的価値を創造しながら、環境に配慮した取組を進めます。

【トヨタ紡織株式会社のSDGsに向けた取組】

- 市民・行政・企業との連携による、使い捨てのライフスタイル脱却への取組強化
- プラスチックの資源循環をはじめとする環境ビジネスの創出及び促進
- 資源循環事業を通じた企業間の連携強化
- 市内のプラスチックごみ削減の取組に対する技術的協力
- 脱炭素・資源循環の取組に資する廃プラスチックの利活用についての普及啓発

【亀岡市のSDGsに向けた取組】

- 市民・企業との連携による、使い捨てのライフスタイルからの脱却への意識啓発
- 市民・企業との連携による廃プラスチックを利活用する仕組みの構築
- 市民へのプラスチックの資源循環に向けた取組の普及啓発
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取組の横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現

令和7年3月17日 トヨタ紡織株式会社
カーボンニュートラル環境センター
CCNO 鈴木 浩己

亀岡市長 桂川孝裕

4 8 9 11 12 13 14 15 17

トヨタ紡織株式会社

・令和7年3月17日 協定締結

【トヨタ紡織株式会社のSDGsに向けた取組】

- 市民・行政・企業との連携による、使い捨てのライフスタイル脱却への取組強化
- プラスチックの資源循環をはじめとする環境ビジネスの創出及び促進
- 資源循環事業を通じた企業間の連携強化
- 市内のプラスチックごみ削減の取組に対する技術的協力
- 脱炭素・資源循環の取組に資する廃プラスチックの利活用についての普及啓発

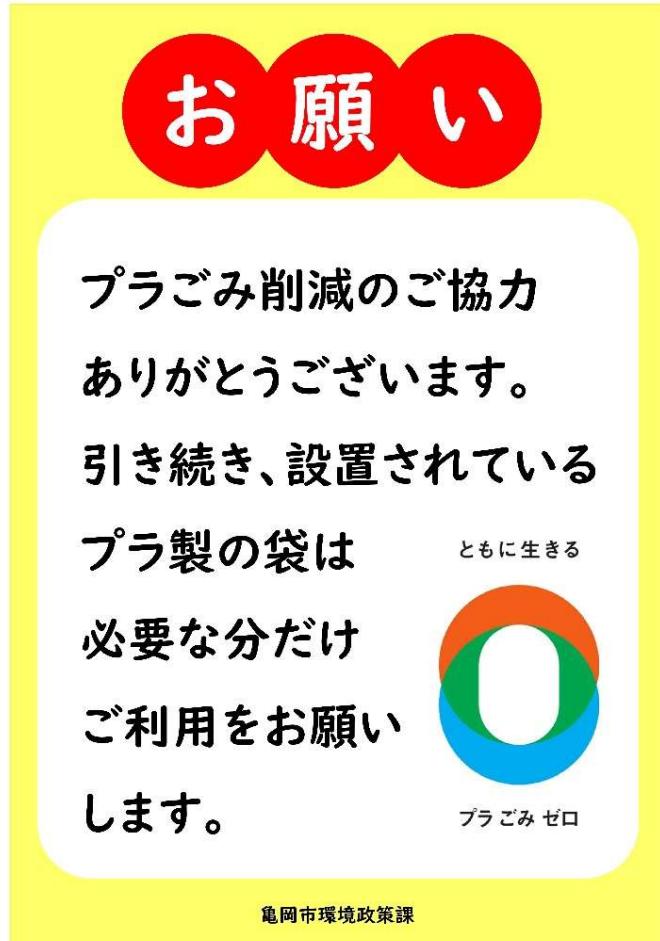
【亀岡市のSDGsに向けた取組】

- 市民・企業との連携による、使い捨てのライフスタイルからの脱却への意識啓発
- 市民・企業との連携による廃プラスチックを利活用する仕組みの構築
- 市民へのプラスチックの資源循環に向けた取組の普及啓発
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取組の横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現

令和7年度の取組について

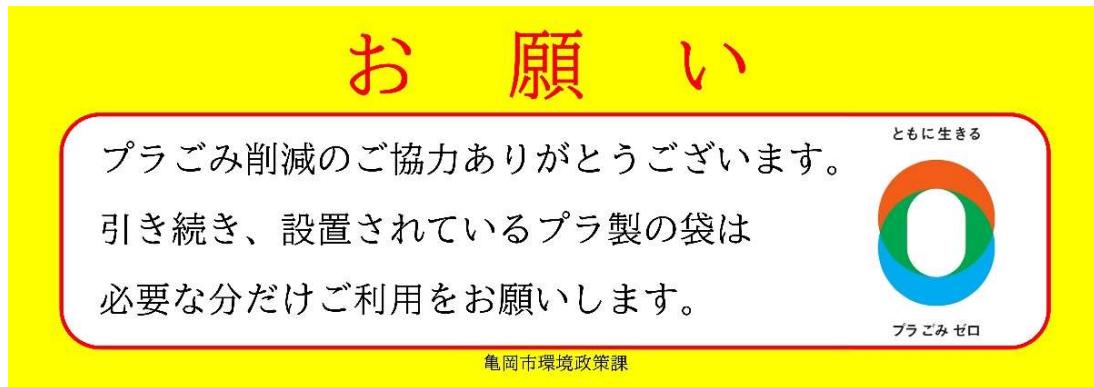
- サッカーボールのプラスチック製袋適量利用の呼びかけについて
- 亀岡市環境プロモーションセンター今後の運営について
- 第4回かめおか環境賞について
- 情報発信事業について

サッカーハンモックのプラスチック製袋適量利用の呼びかけについて



デザイン案（縦）

小売業者のサッカーハンモックに設置してあるプラスチック製袋の適量利用を呼びかけ、プラスチックごみ削減の意識醸成を図ります。
※掲示方法は検討中。



デザイン案（横）

亀岡市環境プロモーションセンター今後の運営について

【常設展示】

- 環境施策の紹介パネル
- 環境施策に関する動画放映
- アユモドキ



【めぐるひろばプロジェクト】

- 毎月8日 「まだ使えるモノ」を次の人へ繋ぐ
「めぐる環（わ）物々交換市」
- 毎月18日 サステナビリティの重要性を体感する
「グリーンラーニングプログラム」
- 每月28日 モノを修理する体験を通じ「物を大切にする」想いを育む
「リペアカフェ」

【イベント予定】

- 8月30日（土）オープン1周年記念イベント

第4回かめおか環境賞

■対象

下記のいずれかの活動に該当する市民、事業者及び事業所を募集します。

- ・亀岡市の「プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」の趣旨に沿った事業を展開し、その取組に大きく貢献している
- ・「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現に向けた活動を積極的に行っている
- ・経済の発展と地球環境との共生に寄与している
- ・持続可能な社会の実現に向けて高い環境理念や行動計画を有し、SDGs達成に向けて取り組んでいる
- ・独創性、先導性がある
- ・模範となり得る先進的な活動で地球規模の環境保全に貢献している
- ・技術・製品開発で顕著な環境改善効果が期待できる
- ・産学官の連携や異業種間のクラスター化などで主導力を発揮している
- ・地域や社会との環境コミュニケーションの構築に積極的な役割を果たしている

■スケジュール

- 6月 市民公募（SNS、ホームページ）
- 7月 事務局による書類審査（1次審査）
- 8月 選考部会による選定（2次審査）
- 9月 市長による表彰者の決定（3次審査）
- 11月 亀岡市自治振興式典において表彰

■選考部会

- ・NPO法人プロジェクト保津川
- ・NPO法人亀岡子育てネットワーク
- ・亀岡市商工会議所
- ・亀岡市自治会連合会（2年ごとに4町で輪番）
- ・亀岡市

情報発信事業

ハワイアン ウイ クラ デイズ ➤ Hawaiian WAI KULA Days

開催日：2025年5月10日～11日

開催場所：鶴見緑地公園ハナミズキホール（大阪市）



➤アースデイ in 京都 2025

開催日：2025年6月14日～15日※出展は14日のみ

開催場所：岡崎公園（京都市）



昨年の様子